Project	地域協働専攻 地域政策グループ
B06	SDGsのための絵本・紙芝居プロジェクト
メンバー	[学 生] 堀田 竜生/上山 桜和/押切 隼人/石黒 彩夏/才神 芽生/田中 麗藻/ 早坂 隆明 [担当教員] 外崎 紅馬

【背景】

人は様々な生活課題に囲まれて生活している。そのような中で、少しでも満足度の高い暮らしの実現に努めている。日々の生活をよりよいものにしていくためには、自分のことだけではなく、他者や地域、社会のことを考えて行動することが大切である。しかし、私たちの生活を取り巻く課題は多様でしかも様々な情報が氾濫しているため、それに押し流され、結局何もしないということも珍しくない。

【目的】

そこで、誰もが親しみやすい絵本・紙芝居を活用し、人や地域、社会が抱えている問題についてSDGsのゴールを基に理解を図り、課題解決のための行動に導くことを本プロジェクトの目的とする。

【概要】

プロジェクトの目的に沿い下記の活動を実施する。

- ① SDGsの17の目標の理解と行動に役立つ絵本を一つの目標につき一人1冊選書。
- ② 選書した絵本の内容紹介とSDGs目標達成に有用な行動を提案したミニ資料を作成。
- ③ 作成したミニ資料をSNSで公開。
- ④ 地域のコミュニティでSDGsを基盤に絵本の読み聞かせ・紙芝居の実演を行う。

【プロセスと成果】

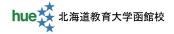
- ●前期は下記の活動を行った。
 - ① SDGsの17の目標を毎週ひとつ設定する。
 - ② 目標の理解に役立つ絵本を一つの目標につき一人1冊選書し、ミニ資料を作成する。
 - ③ 選書した絵本の内容とミニ資料の内容をメンバー全員で検討する。
 - ※ 前期の成果として、SDGsの全目標数17のうち、1番目から8番目までの絵本の選書とミニ資料を作成した。(56冊分を蓄積)
- ●後期は下記の活動を行った。
 - (1) 前期の活動の継続

SDGsの17の目標に対し、全部で115冊の絵本を選書しミニ資料を完成。

(2) ミニ資料の公開

上記(1)の活動と並行し、SNSでの公開を進める。

- ① 活用するSNSは「Instagram」に決定。
- ② 週に1度のペースで投稿を開始。
- ※ 本プロジェクトのSNSアカウントの概要(2024年2月3日時点)
 - ・フォロワー数: 1,620
 - •投稿数:17
 - •得られた「いいね」の総数:10,983
 - ・1投稿当たりの「いいね」の平均数:646







[SNS]

【ミニ資料】

【総括と反省・今後の課題】

前期は、当初の予定より進度は遅れながらも、絵本の選書とミニ資料の作成をこつこつと進め、選書と資料が順調に蓄積された。

後期は、蓄積した資料を週に1度のペースでSNSに投稿し順次公開を実施した。

SNSでの公開は、情報を受け取る対象者が地域という狭いエリアや一部の者に限定されることなく、日本全国や海外に住む人たちからコメントやメッセージが寄せられ、SDGsの目標達成に取り組んでいる関係者・各種団体、絵本の読み聞かせを行っている全国各地の読み聞かせグループから本プロジェクトの活動内容が高く評価され、多くの支持を得た。

一方、前期の進度の遅れが後期にも響き、地域の各種コミュニティでのSDGsを基盤にした絵本の読み聞かせ・紙芝居の実演がスケジュール的に実施できなかったので、それが今後の課題である。

【地域からの評価】

- ・投稿されていた絵本を SDGs の啓発とあわせて読み聞かせ会で読み聞かせをしてみました。
- ・SDGs というと難しく感じますが、絵本を使って身近なところから学んでいくと、理解しやすいし、実践しやすい。
- ・松本市でこども読書推進委員をしています。SDGs の目標達成に向けた視点での絵本の紹介、とても 興味深く拝見しました。
- ・提案されていた行動目標を実践しています。
- ・読み聞かせサークルで活動しています。ぜひ参考にさせてください。
- ・素敵な取組み、素敵な絵本のセレクトに感動してます。
- ・絵本で子どもと一緒にSDGsを学べることができて、 サイコーです。

【その他】

- ① 年間スケジュール
 - ●前期
 - 4月~7月
 - ・絵本の選書
 - ・ミニ資料の作成
 - ●後期
 - 10月~1月
 - 絵本の選書
 - ・ミニ資料の作成
 - SNSでの公開
- ② SNSでの本プロジェクトのアカウント

